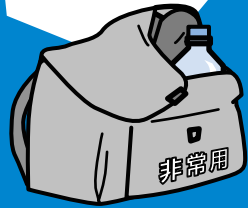


災害に

新企画



毎年、地震などの自然災害が全国各地で発生しています。災害による被害を最小限に抑えるためには、一人一人が日頃から備えておくことが大切です。この連載では、家庭でできる防災の取り組みを紹介。いざというときのために、できることから始めましょう。



備える

このページに関するお問い合わせは、危機管理対策室 ☎211-3062

第1回

冬の防災

—雪と寒さに備える—

雪への備え

災害が発生した際に速やかに避難できるよう、普段から除雪などの対策をしておくことが大切です。

●こまめに屋根の雪下ろしを

屋根にたくさんの雪が積もっていると、地震の際に雪の重みで家が倒壊する恐れが高まります。また、落雪で避難路がふさがること。悪天候のときを避け、転落やけがに十分注意しながら、こまめな雪下ろしを心掛けましょう。



●除雪をして避難路の確保を

災害時には、屋根からの落雪などにより、玄関がふさがることがあります。そのため、窓が避難口になることも想定し、窓の周辺もこまめに除雪しておきましょう。

約6mもの雪が降り、最低気温がマイナス10℃を下回ることもある札幌の冬。

そうした雪や寒さから身を守るためには、夏とは違った災害への対策が必要になります。

寒さへの備え

災害時は停電により、暖房器具が使えなくなることがあります。そのため、寒さをしのぐ準備が重要です。

●防寒具など防災グッズを用意しよう

着用しなくなったジャンパーや帽子、手袋などの防寒具を用意しておきましょう。また、厚手の靴下があると、足元からの冷えを防ぐのに役立ちます。

非常持ち出し袋に入れておきましょう



☑非常持ち出し品リスト

冬の必需品

- 防寒具 (スキューエアなど)
- 毛布 カイロ
- 寝袋 長靴
- 衣類 (厚手の長袖、長ズボン)

季節を問わず必要なもの

- 食料・飲料水 携帯用ラジオ
- 下着 軍手 懐中電灯
- 持病の薬 救急セット
- 現金・貴重品
- 乳幼児用品 予備メガネ



注目! 寒さに役立つグッズ



防寒シート

小さく畳んで持ち運べる薄いアルミ製のシート。ホームセンターなどで購入でき、優れた保温性を発揮します。

市民防災センター長
ほそかわ まさひろ
細川 雅彦さん



大切なのは一人一人が取り組むこと

災害はいつ起こるか予測が難しいですが、一人一人が日頃から準備をしておくことで被害を少なくすることは可能です。災害時は、電気やガス、水道などが止まり、復旧までに時間がかかることもあります。その間を生き延びるため、ぜひ皆さんも水や食料、寒さなどに備えることを始めませんか。

防災対策についてもっと知るには

地震や風水害の対策をまとめた小冊子「防災は日ごろの備え心の構え」を配布しています。

配布場所 市役所6階危機管理対策室、各区役所、消防署など

